

# 京都交通安全新聞

発行所  
京都府警察  
交通企画課交通  
事故防止対策室  
電話(075)451-9111  
内線 5063

府民運動スローガン

思いやりで  
高めよう!  
京都の交通マナー



## 府内の交通死者 半数が高齢者



スピードは控えめに! 交差点手前では減速!!

### 歩行中の交通事故死者がおよそ5割を占める 自動車運転中も増加

平成22年中における京都府内での交通事故死者は96人で、そのうち65歳以上の高齢死者は47人とおよそ半数になります。その中では、歩行中に交通事故にあわれた方が23人と最も多く、自動車乗車中は14人と一昨年より4人増えました。

高齢者の関係する交通事故を防ぐためには、何に注意をすればよいのでしょうか。

#### 歩行中

##### 自宅付近が危険

自宅から50m以内で事故にあり、亡くなっている方が多数おられます。家から一歩でも外へ出れば、多くの危険が潜んでいることを肝に銘じましょう。

##### 横断歩道を渡ろう

道路を横断するとき、信号や横断歩道のある場所を渡りましょう。「急がば回れ」です。少

し近道するつもりが、事故にあえば取り返しのできない遠回りになってしまう。

#### 反射材を使う

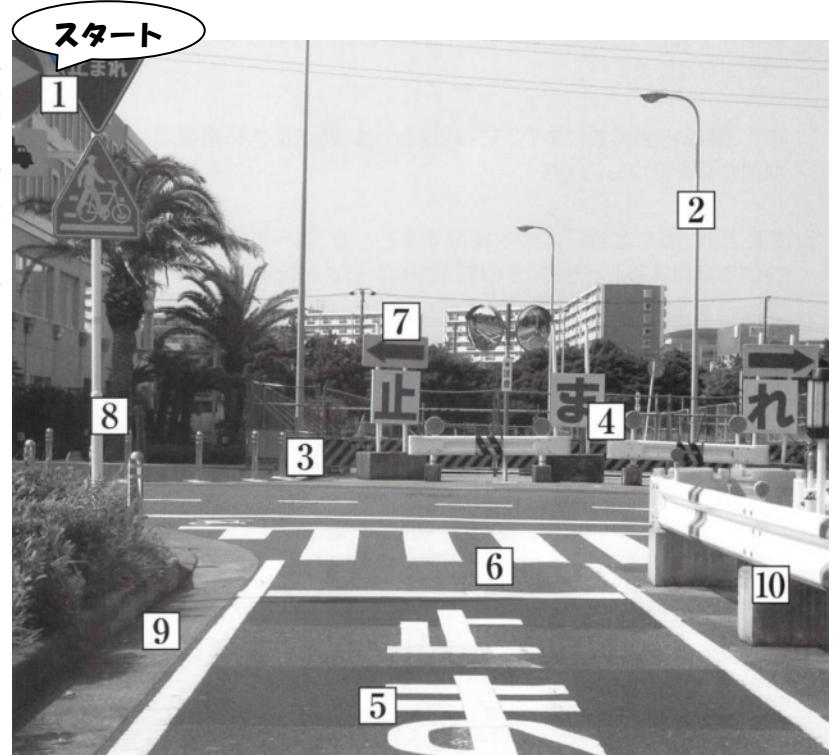
あたりが暗くなると、反射材が活躍します。

ドライバーから目立つ工夫をして、身の安全を守りましょう。

#### 自動車運転中

##### シートベルト着用

「シートベルトを着用していれば助かった」と思われる事故が多数ありました。「少しの距離だから...」



### 認知・判断力チェック

右の写真には、1から10までの数字が書かれています。

これらの数字を、1から順に途中で数字をとばさないように、線で結んでください。目安は15秒です。

これは、目で見えた情報から適切な判断を行い、行動に結びつける「注意配分力」をチェックするものです。

(出典: 内閣府「参加・体験・実践型の高齢者安全運転普及事業」テキストより)